

修士論文（要旨）

2012年1月

保育学生が実習体験を通して実習の意義を理解する過程について  
—保育実習Ⅰ（保育所）と学生のレジリエンス—

指導 茂木 俊彦 教授

心理学研究科  
健康心理学専攻  
学籍番号 210J4051  
今井 大二郎

# 目 次

## 第1章 序論

第1節 はじめに

第2節 保育士養成校の現状

## 第2章 研究背景

第1節 保育実習に関する先行研究

第2節 保育実習の意義に関する先行研究と保育実習意義の定義

第3節 レジリエンスに関する先行研究

## 第3章 本研究の意義と目的

第1節 問題提起

第2節 本研究の目的と意義

## 第4章 方法

## 第5章 結果

第1節 結果 1

第2節 結果 2

第3節 結果 3

第4節 結果 4

## 第6章 考察

第1節 レジリエンス 3 群による実習終了後アンケートについて

第2節 レジリエンス 3 群と STAI との関連について

第3節 レジリエンス 3 群による保育士志向との関連について

## 第7章 まとめ

第1節 本研究のまとめ

第2節 今後の課題および展望

# 要 旨

## 1、序論

ここ数年の保育所利用児童や待機児童数は年々増加の一途をたどり、より質の高い保育士の人材育成が求められている。一方で保育士養成校においては、いかに保育士養成課程における様々なストレスフルなイベントを乗り越え、保育実習や保育士職本来のやりがいを体験し、高い使命感を持った保育士を養成するかということが、重要なテーマとなっている。

## 2、本研究の目的

まず、保育実習の意義を定義し、保育実習意義のアウトカムとして実習終了後アンケートを作成する。次に作成した実習終了後アンケート及び、自尊感情・STAI 尺度・保育実習前後の志向性との関連をレジリエンスの差異から検討し、保育実習意義を理解する過程についてレジリエンスとの関連を明らかにすることである。

## 3、調査対象者・時期

調査対象者；神奈川県内における保育士養成校学生（第2学年 84名）

調査時期；平成23年4月～7月

## 4、結果・まとめ

- 1) レジリエンス高中低3群による実習終了後アンケート各質問項目の一元配置分散分析と多重比較の結果では、全質問22項目のうち7項目において、レジリエンス3群の間に有意傾向と有意差が得られた。また、実習意義下位尺度との一元配置分散分析と多重比較の結果から「学習意欲」と実習意義総合得点において高群と低群との間に有意傾向が見られた。これらの結果から、レジリエンスの差異が保育実習における保育実習の意義を理解する過程において一定の影響を与えていることが明らかとなった。
- 2) レジリエンスと状態・特性不安との相関において中程度の負の相関が得られた。さらにレジリエンスの3群による状態・特性不安との群間差を検討するために一元配置分散分析と多重比較を行った。その結果、特性不安のF検定の結果がレジリエンス高群と低群との特性不安において.01%水準の有意差が得られた。以上のことから、レジリエンスは不安の低減に寄与し、保育実習に関する不安についてもその関連が示唆された。
- 3) レジリエンス3群による実習前志向性と実習後志向性の一元配置分散分析と多重比較で検討した。その結果、実習前後の保育士志向において3群の間に5%水準の有意差が得られ、保育士志向とレジリエンスとの関連も明らかとなった。
- 4) 以上の結果から、保育実習前後の志向性とレジリエンス・自尊感情・STAIによる状態・特性不安との総合的な関連を検討するため、総合モデルの作成を検討した。その結果、レジリエンスを高めること、また実習前の不安を低減することが実習前志向性を高めることに寄与し、実習前保育士志向の高まりが実習意義を理解する過程における学習意欲を高め、さらに学習意欲の高まりが実習後の志向性を高めていくことにつながるということが示唆された。本研究の結果から、今後においてレジリエンスに注目した新たな実習指導の在り方を検討する必要性が示唆された。

## 引用文献

- 東俊一 (2003). 施設実習における実習生の目的・課題意識と学習内容に関する研究 保育士養成研究
- 長谷部 比呂美 (2007). 保育実習に関する学生の意識について—実習不安を中心として— 淑徳短期大学研究紀要 **46**.
- 森脇裕美子他 (2008). より有意義な保育実習の実現に向けて 1—保育実習における実習生の不安に関する研究—, 日本教育心理学会総会発表論文集
- 浜崎隆司他 (2008). 保育実習が保育者効力感、自己評価に及ぼす影響, 鳴門教育大学研究紀要, **23**.
- 原 信夫 (2008). 短大生が語る実習体験, 清和大学短期大学部紀要 **37**.
- 清水彩香他 (2008). 保育実習生の心理的ストレスとストレスナーに関する予備的研究, 群馬大学教育実践研究 **25**.
- 中原大介 (2006). 保育体験実習が学生の学習意欲に及ぼす影響についての考察, 大阪健康福祉短期大学紀要, **4**.
- 厚生労働省平成 20 年 8 月 28 日報道発表資料—保育所の状況 (平 20、4,1) 等
- 原 信夫 (2006). 保育実習に関する不安について, 清和大学短期大学部紀要 **35**.
- 土屋由美子 (2007). 保育実習に関する意欲と現状について—学生のアンケートを中心に—, 中国学園紀要, **6**.
- 三島 智剛 (2007). 教育実習生の実習前後の授業・教師・子どもイメージの変容—実習生のレジリエンスに注目して—, 広島大学大学院教育学研究紀要, 第一部 **56**
- 三島 智剛 (2007). 教育実習生の実習前後の授業・教師・子どもイメージの変容, 日本教育工学会論文誌, **31** (1) 107 - 114.
- 石毛みどり 無藤隆 (2005). 中学生における精神健康とレジリエンス及びソーシャルサポートとの関連—受験期の学業場面に着目して—, 教育心理学研究 **53**
- 石原由紀子・中丸澄子 (2007). レジリエンスについて—その概念、研究の歴史と展望—, 広島文教女子大学紀要 **42**
- 石井京子 (2009). レジリエンスの定義と研究動向, 看護研究 医学書院, **3** - 14
- 森 敏昭他 (2002) 大学生の自己教育力とレジリエンスの関係, 学校教育実践学研究 **8**
- 小塩 真司他 (2002). ネガティブな出来事からの立ち直りを導く心理的特性—精神的回復力尺度の作成— 日本カウンセリング学会 カウンセリング研究 **35**
- 藤原正博 (1981). 自我同一性と自尊感情の関係 アイデンティティの心理学 カニヤ出版 **85**—**89**
- 中野良哉 (2007). 臨床実習における状態—特性不安とレジリエンスの関連 平成 19 年度高知リハビリテーション学院紀要